

昭和二年一月十八日

氏名	所屬部隊	現任所	本籍地	官等級	入籍番號
	羅津特根	同		上	

備考

(一) 本欄書は部隊長又は職務取扱者等其地方役員局人事部長宛通報す
 貴送者に於て知得しありすと認むるもののみを付記載す
 (二) 吳鎮在籍の特務士官、准士官、下士官兵に付記載す
 (三) 同府縣人は勿論他府縣出身者に就ては之を記載す
 (四) 知得しある範圍に於て出来得る限り詳細に記載す
 (五) 他人より聞きて承知したる事項は各管該欄に相手方を記載す

吳地方復員整務處理部

調査 區分	金岡 氏	氏名	63
部 隊	千珠	氏名	213
階級	曹	氏名	
生年月日		入籍 番號	
本籍地	留寺坦当着現住所		

履歷	學歷	特設	入國前	職	特種	其他	家族	家
莫	兄	母	父	職	工			
1791	1810	1814	1811	2091	11	11	11	11
日本國入米	分珠	水多長	二宮					
記	事							

157

死 歿者 調 査

本籍地	現住所	所属部隊	入團年月日	軍 級	出陣年月日	戦死年月日	戦死場所	戦死原因	備考
	石川	九〇一室 石川		上等兵					朝鮮清シシに於て陸軍隊に属し服役中終戦となりて軍の捕虜となり傷州間島自止吉捕虜収容所に送る
									壊血病
									戦死所にて便役に従事しカイセンにて病状に入り後壊血病

死と云ふもの 七〇九五

死亡年月日	昭和二十二年四月十一日	満洲河島村	死亡
死亡時刻	午後二時頃	建長町	病死
死時状況	現病に身体自由を失ひ約二ヶ月程病中大小便は行不能なり、永眠時は特異感なく其心臓を起され其高アツク死せる		
右の通承知してある事	申告致す		
申告者	昭和三十二年四月十一日	氏名	
本籍地			
管理住所			
所属部隊	朝鮮總督府警務部		

備考

一本調書は死没者の身上関係一切を處理するものなり、慎重に且つ詳細に記入して下さい
 二他人の關して承知し、其事項は其の旨を余白に記入して下さい

72-110

此後若調...

21 28

交接

14

本籍地

遺族住址

同

所屬部隊

羅根

役

機

不明

兵種 兵科

官階

上

曹

代名

入籍番号 不明

戰地刺着年月日

不明

勤務概要

昭和二十五年五月二十二日

受傷部 胸部 負通 銃創

受傷之人物

申告者 共二名 吉澤軍兵隊 退院後 中六軍 苦役 從事

遺族 姓名 八重 育子 故可以了 夜間 行軍 一部 隊 員

戦死時状況

共ニ倒レント誓ヒテ之ヲイタワリ居リシモ敵軍ヨリ漸次離脱ノ隙能
大トナレリ此ノ時丁度森林ニサシヤリシ時中隊ヨリ敵軍ヲ追ハ
ラズテ中隊者ハハミテ敵軍ヨリシテ幸ニテ致命傷ニ非ラス
戦死者ハハミテ敵軍ヨリシテ幸ニテ致命傷ニ非ラス
昭和二十一年五月二十三日 長春市西陽江大洲橋北

記事

遺骸ノ處理ハ中共軍主退出後附近部族滿人ノ應援ヲ
得テ土葬スルシタリ(遺骸遺体等ハ滿人ノ風習トシテ取ルコト
ナシシタメ持歸ルコトヲ得ザリキ)

右 申告ス

昭和二十一年八月十五日

中本籍地
貴級郷先
右 同
右 氏名

[Redacted]

官等級
上曹

終

昭和二十七年二月十一日
吳地方復員勤務處理部

全國圖書	未復員書
全國名錄	34.9
吳復員書	117
所管	137
所轄	吳
光山	
氏名	

確度 申告者住所氏名

一 壬午六月六日帶病亡於赤痢兼蒙天依り
 死せしことハ公表されて君父之むに考ふる
 一 家技方を異教の者れば自分を行き違族の納得行く
 ことハ許さず

A

274

高知縣

才

死没者調書	同	右	羅津特別根據地隊	一等水兵	從種	國民兵役	兵役科
本籍地	現住所	所屬部隊	入隊年月日	等 級	内地港灣要港 年月日	外地到港 年月日	勤務の概要

7/60
28
8
11

松竹同病の軍医を肝勤の二名を部下高知縣。死没者名簿を授書
隠匿し逃亡し、他人に同様の状況を知りません

死亡年月日 昭和五年七月八日
 時刻 午後六時
 死時状況 戦死
 死因 戦死
 死後 戦死

左の通り承知 此の通り承知 申す致し

昭和五年七月二十日

中	入籍番号	元	氏名
香	本籍地		
の	現住所	古同	
	所属軍隊	満洲進出隊	後方病院の軍医

備考

一 本調査は死後遺体発見の上調査したものである

詳細に記入してある

一 他人より聞き取り承知した事項は其の旨を記載した

一 調査員は主として公報を調査した

現

不

廿

6767

宮崎縣

死没者証書

本籍地

遺族住所

所属知事

役種

官等級

職到着年月

勤務概要

受陽者通年月日

受陽部(病名)

受陽者本人

族順特別根據地除

現役

上水

昭和二十年一月二十日

不詳

昭和二十年六月十日

流行性腦脊髄膜炎の疑

昭和二十年六月十日流行性腦脊髄膜炎の疑を受理(関東洲)

死亡
職業
6767

入籍番号 不詳

兵種 兵科

入在
昭和24年
第5

23

死時、狀

全州麻院に入院如療中、死亡

聖賢

昭和十一年六月十五日

関東中央病院

訃

遺骸は金州病院に於て火葬せしむ遺骨、許生不詳

右中告

昭和十一年 三月三十日

由本籍地

[Redacted]

告

訃

敬順特根

官等 殿上水

氏

[Redacted]

入籍番号

[Redacted]

経

キ

二復業第九号三
舞後復二第七號の

昭和二十三年十月二日



舞後復員業務課長
舞後引揚復員業務課長
舞後復員部第一復員課長

各地方復員業務処理部復員業務課長殿

死没者に関する件通知(等) 舞

正記は「ナボトカより舞鶴に飯運した各頭書の者の申告によるものである。」
記

申告書 等級氏	申告書 等級氏
上	
名	名
死没区分	死没区分
病名	病名
死没年月日	死没年月日
死没場所	死没場所
本籍	本籍
地記	地記
事	事

国立老国病院内(死者)

郷

先

51-11

死亡現認(確認)證明書

崇(劉錫月氏) 曜和 30 年 6 月 18 日
奉(劉錫官署) 福國寺 隆平

[illegible]

科 吏 考 査	官 査 問	証 明 書
	所おとと控佐者は同郷人であり同室の二、三先 のハットで死を隠してゐることを証し 見張も処理して居ることを認め	本人と情報提供者との関係及び当該の既得資料に照らし本現認証明書により認定し ふべきものと認め
証 明 書	証 明 書	証 明 書
証 明 書	証 明 書	証 明 書

記載上の注意（書き方）にわからぬ点がありましたら速速なく調査官に聞いて下さい。

一、本認明書は、本認明書の死亡の事項を行う場合の基となる資料書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記載が不適当なる箇所には、その
けてその旨を明かにして下さい。

なお、本認明書が最も大切な事は、「死亡の事実を現認（確認）されたこと」並びに「死亡と知つた方法」にありますからこの點は出来るだけ詳細に記載
して下さい。

二、捺印をつけてある所は調査官が記入しますから書く必要はありません。

三、死亡を知つた方法の欄には、自ら現認した、死水をとつた、麻酔に立會つた、同郷兵に立つた、慰問兵又は情報員に立會つた、離れから聞いた、死亡したこ
とを命令等で見えな等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。

四、備考資料欄には次のことを書いて下さい。

イ、貴方の外に本人の死亡事実を知つてゐる人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等。

ロ、死亡者の時数（容赦、機務、物業、助機等）。

ハ、死亡者が軍医の場合、その官等（目録）、採用年月日等。

五、調査官の記入事項

イ、資料提供者の記入せる事項又はその記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補綴した場合は「」を附して記入し、資料提供者の記入し
たものと明瞭にすること。

ロ、調査官は、死亡諸元の各項につき資料提供者に就きその確度を判定しこれを調査員に記入すると共に「死亡事実」について綜合的に確度を判定し、且つ、
調査員は、資料提供者から受けた印象等から調査員自身の確信として利用するに支障ないか否や等の判定を所見欄に明記すること。なお、資料提供者に不安分な
る點に死亡諸元は一括の不安のあるときはこれを覆るための手段等を附記すること。

本認明書の記載は、本認明書の取扱要領等所定事項を記入するために利用すること。

47-12

書 明 証 認 現 確 亡 死

邦・海・陸

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。
○及び裏面の各欄は記載に及びません

資 料 提 供 者		死 亡 者										死 亡 時 期		死 亡 地 点		死 亡 時 刻		死 亡 時 候		死 亡 時 候		死 亡 時 候	
法方たつ知を亡死	理遺留品の処	骸の処理	元(死亡事由)	諸(死亡場所)	亡(死亡日時)	死(死亡区分)	発病場所	発病時期	区 分	本 籍 地	(在留地)	開戦時の住所	所屬(所轄)	部 隊 又 は 職 名	通 称	有 国	細 部 所 屬	地 区 局 面	死 亡 時 期	死 亡 時 候	死 亡 時 候	死 亡 時 候	
本人はマラリヤ、下痢、嘔吐、 段々と衰弱し、死に遺体は現 在一般に行った。	遺品 (舞庭援護局にて渡す)	遺品 (舞庭援護局にて渡す)	マラリヤ 下痢	宣安省 管留果	昭和21年7月4日	*	宣安省	昭和20年暮	内				舞一持										
係関のと者亡死																							
同部隊員																							
所住現																							
舞一持																							
(名) 級 階 氏 名																							
海軍 中佐																							
死亡当時の状況及び参考資料	昭和21年7月頃、フィリピンを出發現地人と同行 北上中、 衰弱したため、宣安省に於て現地人、世話 にはうあ茶、指導、百姓まで、 昭和21年7月4日、マラリヤ、下痢、嘔吐、死した 同人の死体は現地の風俗通り土葬を行った 遺品、遺品を持参した。										死亡当時の状況及び参考資料		死亡当時の状況及び参考資料		死亡当時の状況及び参考資料		死亡当時の状況及び参考資料		死亡当時の状況及び参考資料				
名 氏	統 柄 ()										名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		名 氏		
年 月 日生											年 月 日生		年 月 日生		年 月 日生		年 月 日生		年 月 日生		年 月 日生		
女											女		女		女		女		女		女		

死沒者調百

本籍地

遺族任所公署

所屬部隊
元山空

役種

官等級
二等正

職別肩章
不詳

勤務概要
不詳

受傷經過
不詳

受傷部所
不詳

受傷處所
不詳

兵性
整備科

姓名

入籍番字

死時、狀係

老弱、狀係

昭和二十一年七月十日

間島第四病院

記事

遺骨十二

遺愛、福岡地方世話所に渡す

右 申 出 入

昭和二十一年十一月五日

申本籍地

苦取親先

者所属部隊

氏名

[Redacted]

官等級

入籍番号

[Redacted]

[Redacted]

終

6812

力

長崎世二課第一号九九

昭和二十二年二月五日

長崎地方世話部第二復員課

死致者調書

申告者

元陸軍伍長

死致者

所轄等級氏

元特級上水

名	氏名	病名	年月日	場所
病死	栄矢	21.7.12	延吉	平壤

本

籍

地

佐世保地方復員務處理部

4

昭和二年一月五日

長崎學舎 語部 第二復員課

死限者調書

申告者

元陸軍伍長

元空	天授若 所轄	等級	氏	名	死 因	死 病名	死 年月日	死 場所	本 籍
繁長					病	死	2/7 16	延吉 平壤	

佐世保地方復員務處理部

67